



亀山の自まん

亀山小学校6年 児玉 和義

6年生の総合的な学習の時間では、地域の歴史について調べ学習を進めています。

給人原古墳群は、亀山第三公園の上にあります。見学に行く前、給人原古墳について亀山公民館のホームページで調べてみると、六世紀末から七世紀に作られた後期古墳で、福王寺南山麓一帯に百基近くあった六つの可部古墳群の一つで、小規模化した横穴式石室である。とありました。

これは、ちょうど社会科で学習している古墳時代と同じ時期で、教科書に出てくるような古墳が亀山でもつくられていて、それがまだ残っていることはとってもすごいことだなとおどろきました。

実際に見学に行くと、地域ボランティアの濱田さん、金近さん、長光さんに教えていただいて分かったことがあります。給人原古墳群は誰の墓なのかということと、なぜこの亀山の地に古墳がつくられたのかということです。

だれの墓かという、川のはんらんなどをなくすために整地や開拓をしたリーダーの墓ではないかと考えられているそうです。

なぜこの場所を選んで古墳を建てたのかというと、日当たりのよいならかな山のふもとだからではないかと考えられるそうです。

このように、先祖が遺してきたものは、まだあります。それは福王寺や両延神社です。

ぼくは、福王寺へ5年生の遠足で行ったり家族でも行ったりしています。お寺の造りや不動明王像、金亀池はすばらしいと思いました。

両延神社は、毎年あるお祭りやおおみそか

のお参りには必ず行きます。そのときには、たまに地域ボランティアの方々を見かけます。これは、多くの方が大切にしている神社なのだとはくは思います。

このように、亀山には、古くから遺されてきた大切なものがあります。

ぼくは、この歴史的な古墳、寺、神社などは亀山の自まんだと思いました。

だから、このような歴史的なものを新聞などに書いて、身近な人から多くの人へと広めていけるようにしたいと思います。

社協かめやま事務所開設 皆さんに愛され、利用される活動拠点

- 見守り活動、ボランティアバンク、いきいきサロンなど各種事業の推進
- 悩み事・困り事の相談
(毎週火曜日と木曜日 午前10時～正午12時まで)
住所 亀山7丁目19-12
電話 815-4178 (FAX兼用)
- 車椅子、プロジェクター、スクリーンの貸し出し(無料)
- 緊急医療情報キットの有償配布
- 安心箱、安心カードの配布
(ひとりくらしの高齢者の方)

地域福祉事業にご寄付

亀山社協に平成29年3月1日から5月31日までの間、次の皆様から貴重なご寄付を頂きました。謹んでお礼申し上げます。[受付順]

- ◎香典返し
下行森 岡本栄太 様(母・アヤメ 様)
綾西 沖 幸子 様(夫・秋義 様)
- ◎見舞返し
上行森 山崎千代子 様(ご本人)
下行森 福田正男 様(ご本人)

変わる社会福祉の在り方

平成29年度亀山地区社会福祉協議会総会

亀山地区社協は、5月21日(日)亀山公民館で平成29年度の代議員総会を開催。総会には来賓の山崎正博県議会議員、宮本眞弥子亀山小学校校長、講師の国松浩司小規模多機能型居宅介護縁が和理事長、社協役員・代議員93名が参加しました。

総会に先立ち物故者に黙祷、事務局より総会成立の宣言で開始(出席者77名、委任状68名、総計145名)。大島正彦会長の挨拶、来賓の方々の祝辞に続き、議長に中坊 寛氏(中大毛寺)を選び議事に入りました。28年度の事業・決算・監査報告及び29年度の事業計画・予算案が、質疑応答をへて原案通り承認可決されました。

総会議事終了後、好評を頂いている亀山小学校の児童による作文発表をしました。(5・6面掲載)



地域包括 ケアシステム

亀山地区社会福祉協議会
会長 大島 正彦

平素より亀山地区社協の活動に対し、ご理解・ご協力・ご支援を賜り感謝申し上げます。

今、可部の町は変わりつつあり、活気が出ております。3月にJR可部線が復活電化延伸開業。5月に電化延伸区間と、船山町内会・可部学区の福王寺山麓の団地を結ぶ「乗合タクシー」の試験運行開始。更には、平成34年の春に「あき亀山駅」前に新安佐市民病院が開院など。このような状況の中で、今「社会福祉あり方」も変わろうとしております。

現在、厚労省は約10年後の団塊の世代が後期高齢者になる事を見据えて、医療・福祉などの面で、個別支援の介護サービスから、地域支え合い体制を構築する「地域包括ケアシステム」の導入を進めております。これは、介護・支援

医療費が膨らむ現在の医療の仕組みから、重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で人生の最後まで暮らす事が出来る仕組み。自宅・地域で介護体制を構築する事であります。

これには、昔流の「向こう三軒両隣」の活動、今流に言えば「自助・共助・近助」の力が必要であると考えます。いうなれば、「遠い親戚より、近くの他人」の支援です。

この他にも「高齢者支え合い事業」「在宅生活継続支援事業」「高齢者いきいき活動ポイント事業」等と高齢者の福祉事業は確実に変わってきております。これらの実施が、地域の社協・自治連にとって、緊急の課題です。

このためには、これからの高齢者社会を支えていただく「若い人の力」「若い人の考え方」が欠かせません。ぜひ、福祉活動の中に入っただき一緒になって社会福祉の構築をお願いします。

変わろうとしている社会福祉の対応に、皆さまのお力をお借りして進めてまいります。ご協力よろしく申し上げます。

平成28年度事業報告

(福祉推進事業)

年月日	内容	会場
28. 4. 6	ひとりくらしの花見会 参加者49名	可部運動公園
28. 7. 20	食中毒予防講習会 演題「家庭で出来る食中毒予防」 参加者54名 (講師 広島市健康福祉局保健部食品食品指導課 山木戸 聡氏、佐藤尚文氏)	亀山公民館
28.10. 7	ひとり・ふたりくらしの集い 参加者128名 (講師 ジャンボ衣笠氏、コント土岐の城氏)	亀山公民館
28.10.20	男の料理教室(前期) 参加者18名 (講師 奥野昭代氏)	亀山公民館
28.11.13	亀山地域祭りで福祉バザー開催	亀山公民館
28.11.18	ひとりくらしのバス旅行 参加者54名	いこいの村しまね
28.12.11	在宅要介護者及び介護者への配食と激励訪問 要介護者31名、介護者30名 計61名	亀山集会所
29. 2. 19	ふれあい福祉会議と懇親会 参加者89名、内懇親会50名 演題「幸福度の高いまちづくり」——地域でねばる (講師 社会福祉法人優輝福祉会 理事長 熊原 保氏)	亀山集会所
29. 3. 2	男の料理教室(後期) 参加者24名(講師 奥野昭代氏)	亀山公民館

(各種会議)

28. 4. 13	亀山地区社会福祉協議会 会計監査	社協かめやま
28. 5. 12	亀山地区社会福祉協議会 理事会	亀山公民館
28. 5. 22	亀山地区社会福祉協議会 代議員総会	亀山公民館

(広報活動) 広報紙「かめやま」発行

105号(7月14日) 106号(10月31日) 107号(3月31日) 3回発行

(社協関連団体事業)

28. 8. 27	いきいき子育て応援フェスタinかめやま	亀山公民館
28.11.19	安佐北区社会福祉大会 (受賞者 穂村和恵、向井幸三、佐々木和子、清見邦昭)	総合福祉センター
28.12.21	広島市社会福祉大会 (受賞者 中坊 寛、長山昭夫)	JMSアステールプラザ

(その他の事業)

28. 7. 15	亀山学区献血推進運営委員会	亀山公民館
28. 9. 24	亀山学区献血実施 受付者数94名 採血者数82名 *全員400ml採血	アルゾ可部店

(支援事業) サロン活動くつろぎ会・子育てサロン

織内活性化(会員の加入促進)等の情報交換会の開催
各地域福祉活動、子ども福祉の向上と健全育成の支援
子ども会育成協議会・青少年健全育成連絡協議会・母親クラブ活動・子ども見守り活動等への支援

広報活動事業

広報紙「かめやま」を年2回以上発行・変わろうとしている社会福祉の情報収集
自主財源の確保
「かめやま福祉バザー」(亀山地域まつり)、寄付(香典・見舞い・お祝い返し)の呼びかけ

かめやま広場



「おはよう。」
いつも、ぼくたちを迎えてくださる優しい声。その声に、ぼくはいつも元気をいただき、毎朝登校しています。声をかけてくださるのは、地域のパトロール隊の方々です。
思い起こせば、ぼくが1年生の時には、家まで送っていただきました。そのおかげで、ぼくは無事に登下校することができ、今、6年生として、登校班の班長をしています。そして、ぼくは、パトロール隊の方がしてくださっているように、登校班のみんなを安全に学校に連れて行けるように頑張っています。

ぼくは、あいさつはとても大切だと思います。毎日、あいさつをしてくださるパトロール隊の方々がいるからこそ、何があっても大丈夫だという安心感があります。しかし、残念なことに、そのあいさつが十分に、できていない人たちもいます。一人でもあいさつをしないと、感謝の気持ちが、パトロール隊の方々には届かないと思います。だから、ぼくは最高学年として、みんなのお手本になれるように、大きな声で元気よくあいさつするように、心がけています。

パトロール隊の方は、ぼくの1年生の頃からお世話をしてくださっていて、一人になったと

きには、すぐに来てくださったり、一緒に話をしてくださったりしました。落ちこんでいるときには、すぐにはげましてくださいました。ぼくは、こんなパトロール隊の方がおられる、亀山の地域は素晴らしいなと思います。また、それと同時に感謝の気持ちでいっぱいになります。

これからも、朝、元気に、「おはよう。」を、交わせる亀山の地域にしていきたいです。ぼくが、大人になったときにも、このふるさとを大切に、あいさつが続いているようにしていきたいです。そのためにも、亀山小学校みんなが、あいさつをしっかりできるように、最高学年として引っ張っていきましょうと思います。



写真左から大島会長、大下くん、児玉くん、宮本校長

平成28年度決算・29年度予算

収入の部

(単位：円)

費目	28年度決算	29年度予算	摘要(29年度)
繰越金	471,443	382,640	平成28年度より繰入れ
会費	601,800	601,800	一世帯拠出150円×4,012世帯
助成金(地区社協)	557,160	550,000	地区社協運営費・事業費・推進事業費
寄付金	212,000	176,000	香典返し、見舞い返し、その他
負担金収入	189,000	192,500	ひとりくらしのバス旅行個人負担 3,500円×55人
	128,000	125,000	ひとり・ふたりくらしの集い個人負担 1,000円×125人
	100,000	100,000	ふれあい福社会議と懇親会個人負担金 2,000円×50人
事業収入	85,655	85,200	福祉バザー収益金・緊急医療情報キット分譲200円×1個
雑収入	17,008	17,000	共同募金事務手数料・預金利息・自治連家賃負担金
収入合計	2,362,066	2,230,140	

支出の部

(単位：円)

費目	28年度決算	29年度予算	摘要(29年度)
会費	200,600	200,600	安佐北区社協会費 50円×4,012世帯
事務所維持経費	144,438	145,100	家賃、水道料、電気料、電話料
事務費	134,711	133,600	はがき、切手、プリント、研修会、謝礼等
会議費	900	1,000	会場費
広報費	272,620	272,700	広報紙 3回発行(各4,300部×14頁)
福祉事業費	924,370	962,300	ひとりくらしの花見会、ひとりくらしのバス旅行、ひとり・ふたりくらしの集い、男の料理教室、在宅要介護者及び介護者への配食と激励訪問、ふれあい福社会議と懇親会、いきいきサロン助成金、子育てサロンプーさん・どーなっつ助成金、ボランティアバンク活動費、災害被害者見舞金・被災者援助活動費
コミュニティ活動推進費	198,787	206,000	敬老会事業(白寿・米寿祝い、在宅要介護者見舞い等)
団体助成金	103,000	103,000	子ども会育成協議会、青少年健全育成協議会、母親クラブ いきいき子育てフェスタ
支出合計	1,979,426	2,024,300	
次年度繰越金	382,640	205,840	
合計	2,362,066	2,230,140	

◎収入合計 2,362,066 円 - 支出合計 1,979,426 円 = 繰越金 382,640 円

〔基本的考え方〕

少子高齢化、核家族化、人口の減少の中、社会全体で支えあう力「公助・自助・共助・互助・近助」が大切です。しかし、社会全体で支えあう「5つの重要性」を認めながらも、隣近所の付き合いが希薄になり、子育てや介護をめぐる問題が顕在化し、社会的に援護を求める人が多くなっています。しかし、既存の制度による対応では難しくなり、地域における支え合いとしての事業が重要となってきています。

まずは「地域包括ケアシステム」を基軸に「高齢者の支え合い事業」「子育て支援」等の取り組みが重要です。亀山地区社協としても、上部団体の流れに沿って方向転換の必要性を感じています。今年度は、従来の“住んで安全 暮らして安心 絆のまち かめやま”を活動の中心にしながら、変わる社会福祉の在り方の情報収集を行って、若年層の意見を聞き、活動に反映させていきます。

〔実施計画〕

【福祉のまちづくり4つの要素】(1)安心して暮らせるまちづくり (2)共に暮らせるまちづくり (3)支えあえるまちづくり (4)潤いのあるまちづくり——を目指します。具体的には、地域における高齢者・介護を必要とされる方、その他住民への支援を以下の3つに分け、重要活動として取り組んでいきます。

- ① 訪問型活動の⇒「安心ネットワークづくり」
- ② 参加型活動の⇒「ふれあいいいききサロン」
- ③ 発掘、養成、需要調整活動の⇒「ボランティアバンク活動」

これらの活動を実施するためのツールとして「緊急医療情報キット」「緊急時見守り通報ネットワーク」の充実化、「サロン利用活動」「ボランティアバンク」「高齢者への見守り活動」の充実と定着化を図ります。また、活動拠点となる事務所「社協かめやま」を充実させ、皆さまの身近な亀山地区社協として、より多くの方が利用できる仕組みになるよう取り組んでいきます。

〔事業計画〕

福祉事業

- ①あいさつ声かけ運動 ②見守り活動の推進・ひとり、ふたり暮らし等の方々への訪問、見守り・「緊急連絡体制」「緊急連絡カード」「災害時の要介護要援護者の支援」及び「安心箱」の設置・「となり組」活動を推進し絆を深めていく ③地区内の介護施設との交流 ④「地域包括ケアシステム」の導入を推進 ⑤「社協かめやま」の〈相談日〉のPR

高齢者福祉の向上

- ①在宅高齢者(要介護4・5)へのお見舞い ②在宅高齢者とその介護者及び95歳以上の高齢者に配食・励まし訪問 ③ひとり暮らし高齢者のつどいを開催(花見会・日帰り旅行・料理教室・その他) ④ふたり暮らしの高齢者のつどいを開催(つどい及び懇親会・その他) ⑤男性の料理教室 ⑥その他各地域における高齢者を対象とした事業への支援

敬老事業

- ①米寿・白寿の方にお祝い金 ②各地域の敬

老の日に祝辞

ボランティアバンクの充実と活動の定着

- ①バンク員を再募集し、派遣事業の充実を図る ②バンクスタッフの強化 ③サロン新規開設の支援

「ふれあいいいききサロン」への支援充実

- ①幅広く参加者を募る(特に男性) ②サロン間の交流 ③ボランティアバンクの活用 ④亀山地域包括センターの支援による「ふれあいいいききサロン」の充実 ⑤新規開設の支援

「子育て育児サロン」への支援充実

- ①サロン間の交流 ②新規開設の支援

災害被害者への援助

火災、風水害等の被災世帯に見舞金

学区内諸団体との活動推進会議・福祉懇談会の開催(地域社会福祉の充実を図る)

- ①理事・代議員及び地域の福祉施設関係者等による研修会、情報交換会・懇談会の開催 ②学区内諸団体の代表者及び関係者等による組